



看護キャリア開発センター通信 Vol.14

H28.12 発行



【潜在看護師復職支援】

11月10日に、潜在看護師復職支援を実施しました。離職してブランクのある潜在看護師さんに向け、最近の医療・看護の動向、医療安全や感染管理などの講義を、実際に復職した看護職員の話で経験談を聞いて頂きました。看護技術演習では実際に機材に触れ、技術の再確認をおこないました。

潜在看護師の復職に向けての後押しとなれば幸いです。

参加者の感想

「現在健診のアルバイトなどを不定期におこなっていますが、今回参加し、改めて看護の現場に出て役立ちたいと感じました。」

「少人数で話を聞くことができ、現在の看護の動向を知ることができました。それぞれの方のお話がわかりやすく刺激を受けることができ、研修に参加できて良かったです。」

復職した職員の話



採血



感染管理



継続教育研修 新たな取り組み

【認知症看護研修】

1回目



今年度の継続教育では新たに、3回シリーズで「認知症看護」研修を開催しています。紀北分院の認知症看護認定看護師の岸田悦子さんの講義と、関西福祉科学大学の都村尚子先生の特別研修を企画しました。12月3日の都村先生の「バリデーションへの誘い」の講演には、院内から75名、院外から54名が参加しました。

「バリデーション」とは認知症の方に「コミュニケーションを通して感情レベルに訴える方法論」です。

2回目



特別研修 感想

- ☆バリデーションとは何かを学び、日頃おこなっていた自分の看護を見つめ直す機会ともなった
- ☆現場で実践できる内容がたくさんあった
- ☆3時間が短く感じられるほど有意義な時間だった
- ☆認知症の方とのコミュニケーション方法についてよく理解できた



【退院支援・退院調整Ⅲ 報告会】

「退院支援・退院調整Ⅲ」研修では、9名の研修受講者が、10月6日に市内5ヶ所の訪問看護ステーションで実地研修をおこないました。

後日、自分たちがおこなう退院支援についての学びや課題を報告会で発表しました。報告会には研修先訪問看護ステーションの職員も参加し、病院と訪問看護ステーションの連携の重要性などの意見をいただきました。



【看護技術習得支援】



9月～11月まで計9回開催しました。のべ参加人数は、361名。気管内吸引や筋肉注射などの項目が練習できました。実施回数が最も多かったのは、尿道留置カテーテルでのべ60回。次いで多かったのは、のべ43回の皮内注射でした。

12月からは演習項目が変わり、心臓マッサージやAED操作、経口挿管介助などを演習することができます。1年目看護師だけでなく、皆さん参加してください。